



令和2年8月5日  
海上保安庁

## 海の事故ゼロキャンペーン期間中の海難発生状況（速報値）

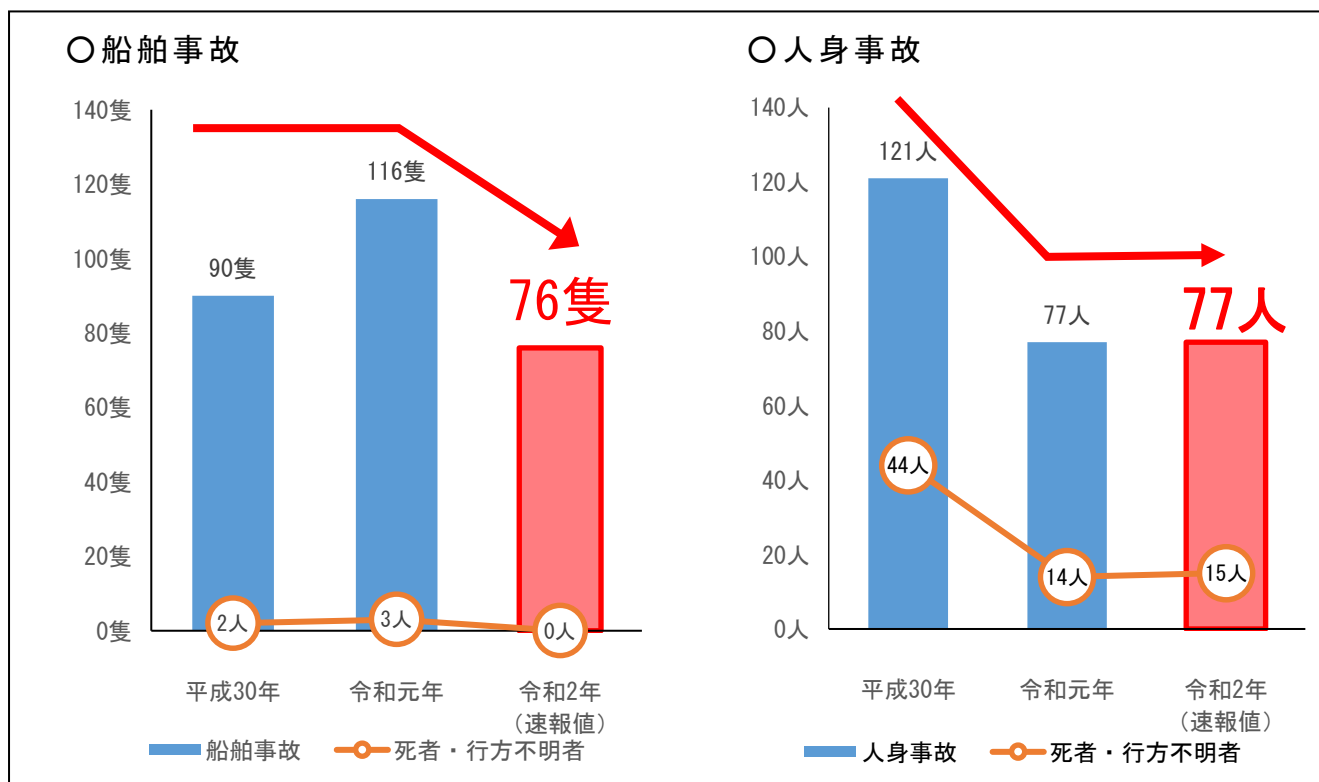
～船舶事故は大幅減、人身事故は横ばい～

令和2年7月16日～7月31日の海難発生数は、以下のとおりです。

船舶事故は、昨年と比較して大幅に減少し、プレジャーボートの事故は横ばいであったものの漁船の事故が著しく減少しました。要因としては、海産物の需要減少や日照不足などが考えられます。

人身事故は昨年と同数でしたが、遊泳中の事故は若干減少する一方で釣り中の事故が大幅に増加しました。平成30年と比較すると令和元年と同様減少しており、要因としては、昨年同様、日照不足や梅雨明けが遅れたことが考えられます。

これから、いよいよ夏本番となり、マリンレジャー活動に関連する事故が多発することが懸念されますので、海上保安庁では引き続き発生状況を注視し、安全啓発に取り組むこととしています。



★「船舶事故」とは、船舶の運航に関連した損害や具体的な危険が生じたものをいいます。

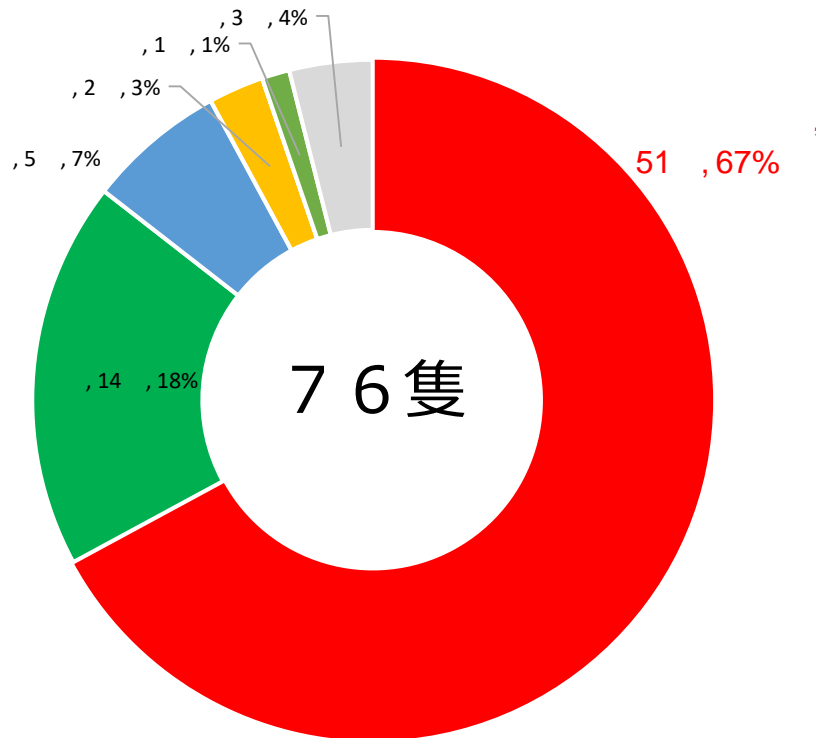
★「人身事故」とは、海上又は海中における活動中に死傷者（自殺、病気を除く）が発生したものをいいます。

# 船舶事故の用途別発生状況

é ù 1 Û Å Ç p -

- ▶ 船舶事故隻数：76隻（昨年比40隻減少）
- ▶ 死者・行方不明者：0人（昨年比3人減少）
- ▶ プレジャーボートの事故の発生割合が、昨年同期間に対して大きく増加（約47%⇒約67%）
- ▶ 漁船の事故の発生割合が、昨年同期間に対して大きく減少（約30%⇒約18%）

R é ù ÷ ¥ ¶ Å Ç p - S



R † « û S

